

お子さんの楽しい学校生活のために 就学支援シートを使ってみませんか

八王子市では、保育園・幼稚園・認定こども園等に通っているお子さんが、小学校入学後も楽しく学校生活を過ごせるように、「就学支援シート」をつくりました。

保育園・幼稚園・認定こども園等での生活で支援が必要なお子さんや、集団活動の時に個別の配慮が必要なお子さんが小学校に入学したとき、その子に合った支援や配慮が継続されることが大切です。

入学前にちょっとした配慮がされることで、お子さんの学校生活は過ごしやすくなります。小学校の担任の先生と、学校でどんなことができるか、一緒に考えていくといいですね。

来年の春、お子さんが小学校に入学されるにあたり、心配なことや伝えたいことがあつたら、ぜひ「就学支援シート」をご活用ください。



就学支援シートを
利用されるにあたって

- ◆シートは、全員が提出するものではありません。
(シートを使ってみたいとお考えの方は、園長先生か園の担任の先生にご相談ください)
- ◆記載される内容はお子さんやご家族にとって重要な個人情報ですので、作成から活用まで適切に管理しています。また、目的以外の使用はいたしません。

- ・学校でどのように使われているの?
- ・使うことでデメリットはあるの?



担任が子どもの様子を詳しく知ることができ、支援の方法や手立てを事前に考えることができます。また、保護者の考え方や意向も聞けるきっかけになっています。

シートの目的は、園で行っていた支援を小学校へつなげることです。デメリットはありません。使うことを迷われている方は、気兼ねなく活用し、提出してください。



小学校の先生より

利用された 保護者の声

就学への不安がとれました。

子どものことを理解してもらえてよかったです。また、改めて子どもの特性を知るきっかけになりました。

シート作成と流れ

8月～

- シートの作成
- ①園が記入
 - ②保護者が記入

10月～2月末

- 小学校へ持参
(学童保育所)

就学時健診時に
就学支援シートの
提出もできます。
学校の先生に直接
相談できる機会と
なります。

4月

- 小学校
入学

- ・園の先生に相談し、一緒に話し合って作成してみましょう。
- ・園で就学支援シートのコピーをもらい、学校に持参します。
※ 事前に学校（校長または副校長）に連絡し、持参してください。
- ・学童保育所に通われる場合は園でもう1部コピーをもらい、学童保育所にも提出しましょう。
- ・シート原本は、マイファイルに保管しておきましょう。

「就学支援シート」に関するお問い合わせ

八王子市保・幼・小子育て連絡協議会
(事務局：八王子市子ども家庭部子どもの教育・保育推進課) まで
電話：042-673-3707

このようなシートに記入していただきます（全ての項目を書かなくてもかまいません。
お子さんに必要と思われる支援や配慮をお学校にお伝えください。）

保護者から「(園から)を読んで記入)		園から(最初に記入)	
生活の様子		園・施設名	
好きなこと 得意なこと 遊び・生活	例) ○○の手伝い ペットの世話 絵本を読むこと	例) バスル、ブロック、電車・車を使っての遊び	
苦手なこと 遊び・生活	例) 運動 工作 家族以外の人と話すこと	例) 手先を使った遊び(はさみ、のりなど) 対応→個別に觸る。やりたくない時は、無理強いせず、気を向かせるような声掛け(した)り別の時に出来るよう設定(した)。	
気をつけてること			
遊びの中で			
例) 公園に行ったり、歩いたり、なるべく体を使う遊びをする ようにしています。 例) コミュニケーションが苦手なため、休日も お友達と遊ぶ絶えをして、集団の中で生活させるように 心がけています。			
日常生活の中で			
例) 新しいことを始める時に、先にあきらめてしまうことが あります。いつも頑張ってチャレンジさせています。 例) 自分でできることは、時間がかかるても自分でさせる ようにしています。			
その他気をつけて いること			
例) 一度いくつの用意を書いてしまうとハニックになつて しまうので、1つずつ伝えるようにしています。最近は、 「これが終わったら、これ」と2つくらいは聞けるようになつてきました。			
これまでお子さんのことで相談に行つたところ			
例) ○○センター 例) ○○の病院			
健康、身体のことで伝えたいこと			
例) 足首の動きが便く、特に下り坂や階段の下がりがにがてです。 例) 手先が不器用で、折り紙などの細かい作業に時間がかかります。			

保護者から「(園から)を読んで記入)		園から(最初に記入)	
生活の様子		園・施設名	
好きなこと 得意なこと 遊び・活動	例) バスル、ブロック、電車・車を使っての遊び	例) 好きなこと 得意なこと 遊び・活動	例) バスル、ブロック、電車・車を使っての遊び
苦手なこと 遊び・活動	例) 手先を使った遊び(はさみ、のりなど) 対応→個別に触る。やりたくない時は、無理強いせず、気を向かせるような声掛け(した)り別の時に出来るよう設定(した)。	苦手なこと 遊び・活動	例) 好きなこと 得意なこと 遊び・活動
援助の様子(指導の中での記述と工夫)			
活動の中で			
例) 製作は苦手なため、説明されたことをそばについて、さらに簡潔に伝えてきた。「〇〇じたあと××して」を「1、〇〇する」、「2、××する」と教えるなど。			
遊びの中で			
例) 欲しいものがあると黙つて取ってしまう。「欲しかった」「〇〇したかった」という本人の気持ちを受け止めてから中裁に入り、お友だちにも本人の気持ちを伝えてきた。			
日常生活の中で			
例) 朝、タの支度は、基本的に出来ていることが苦手なため、スケジュールを紙に書いて示し、見てわかるように伝えることでスムーズにいくようになりました。			
担任から学校(学童保育所)へ伝えたいこと			
(上記のこと以外で特に伝えたいこと、もう少し補足したいこと、など)			
例) 初めのうちは、一日のスケジュールが見てわかるように、紙に書いてたり、カードにして伝えてきた。その後、見通しが持て、行動がスマーズにいくようになる。			
成長とともに集団での関わりが持てるようになってきた。ルールは簡潔に説明する。友達との関わりの中でトラブルが生じた時は、まずは本人の気持ちを受け止めながら対応して、なるべく集団の中の一人として関わらせるようにした。			